



電話 84-7006 社会福祉活動センター内 (旧朝日診療所)

《第8号 s i n s e》

3日間くらい寒い日が続いた後4日間くらい暖かい日が続く「三寒四温」という言葉は、もともと中国東北部や朝鮮半島北部などで冬の寒暖の変化を表す言葉として使われていたそうです。

それがそのまま日本に伝わってきましたが、日本の気象では春先なので、いつの間にか春先に使う人が増えたそうです。 『♪ 雪が溶けて川になって流れて行きます ♪ つくしの子が 恥ずかし気に顔を出します ♪ もうすぐ春ですね ♪ 』 もうすぐ春ですよ～

### ■ひな祭りのお弁当をお届けしました！

3月3日に「ひな祭り弁当」を民生委員さんの手によって、町内対象世帯の方々にお届けして頂き、お弁当を手にした方々は、笑顔で受け取っていらっしゃいました。



あらためて、心のこもった美味しいお弁当をお届け頂いた民生委員の皆様、そして調理して頂いた「ブイチェーン只見店」の皆様誠にありがとうございました。

【※ このお弁当は、地域歳末たすけ合い募金と社会福祉協議会の地域活動資金で賄っている事業です。】

### ■スカットボール・囲碁ボールで健康維持と交流を！



【沖・根木屋・沢口地区】

【スカットボール】

点数の高いところをねらいます！



【大倉地区】

【囲碁ボール】

五目並べのように打ちます。

※ スカットボールも囲碁ボールも2セット  
社会福祉協議会にありますので、健康維持  
と交流のために遠慮せずお使いください！！



電話 84-7006 社会福祉活動センター内 (旧朝日診療所)

■社会福祉トップセミナー(福島県社会福祉協議会主催)に出席しました!

講演会の講師は、秋田県藤里町社会福祉協議会会長(元事務局長)の菊池まゆみ さんでした。藤里町の人口は、只見町より少なく3,448人(平成29年4月現在)、高齢化率45%と只見町に似ています。

ただ諸条件が違うので、単純比較はできませんが、社会福祉協議会の職員数は51人で、社会福祉協議会の年間予算額は約2億7千万円だそうです。

.....以下に印象的な発言を記してみます。.....

- 本当に困っている人は、「困っていますか?」と尋ねても「困っていません。」と答えます。  
表面上の言葉だけで判断しない、背景も含めて考えられる福祉職員が地域には貴重です。
- 1年365日支援するだけの人、同じく365日支援されるだけの人はいないと思った。
- 結果が出なくとも本気で取り組むことが大事だと教えられた。
- 福祉の立場から地方創生を考えました。      ○ ひきこもり対策は誰の視点なのか?
- 現代の若者の生きづらさを感じます。
- 「福祉で町づくり」を合言葉に地域トータルケア推進事業を実施した。
- 若者の居場所、出番づくりを地域で考えました。
- 平成22年度は、ひきこもりの人が113名いたが、平成26年度末には25名に減った。
- 「白神まいたけキッシュ」の販売、「お食事処こみっと」での就労訓練、「共同事務所でのパソコン等操作訓練」などに取り組んでいる。

■雪まつり(なめこ汁コーナー)の募金を熊本地震の災害義援金へ!

只見町赤十字奉仕団(五十嵐聰江 委員長)では、雪まつりの折、ご支援頂いた12,020円を日本赤十字社福島県支部を通じ「平成28年度熊本地震災害義援金」として送金させて頂きました。ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。

社協事務所の前庭から浅草岳を望む(3/3)



社協の公用車です。リヤワイパーがないのが弱点ですが、頑張っています!



■日本赤十字社の社費(会費)ありがとうございます!

只見町社会福祉協議会は、日赤福島県支部只見町分区(分区長 菅家三雄町長)の事務局も兼ねています。皆様のご理解とご支援誠にありがとうございます。(以下一口メモです。)

【日本赤十字社は、「日本赤十字社法」という特別な法律によって設立された認可法人です。設立目的は、災害時に迅速な被災者への医療救護を行うことや被災者への迅速な救援物資の配分を行うことなどを主な役割としており、皆様の会費は、そのために使われるものです。

また、法律で定款を定めることになっていて、法律では「社員・社費」と呼んでいますが、定款では「会員・会費」と呼んでいます。ちょっと紛らわしいですね。

本来会員は、年額2,000円以上納める支援者で、法律上の社員になります。

協力会員は、年額500円以上納める支援者を言います。】

■ご寄附お礼

社会福祉(介護事業)のためにご寄附を頂きました。

只見 菅家 俊一 様 金10万円

黒谷 横山 久 様 金10万円

誠にありがとうございます。大切に使用させていただきます。

